

成果指標				
成果指標	施設利用件数			
指標設定の考え方	林業関係事業の充実度により、勉強会及び会合の回数の頻度が影響する。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標26年度
目 標	10	10	10	10
実 績	15	3	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	施設管理について、伊予森林組合による指定管理を行えないか検討したい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	当センターは、地域の中心部から離れた場所にあり、また、林業振興の目的で設置された建物でもあることから、利用率は低く今後も利用の増加は難しいと思われる。施設管理について、森林組合が施設の一部を使用している関係から、森林組合へ指定管理できないか検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題